

地域と企業をつなぎ共創するチャレンジ新潟

農×○○で

新しい農村づくり

プロジェクト



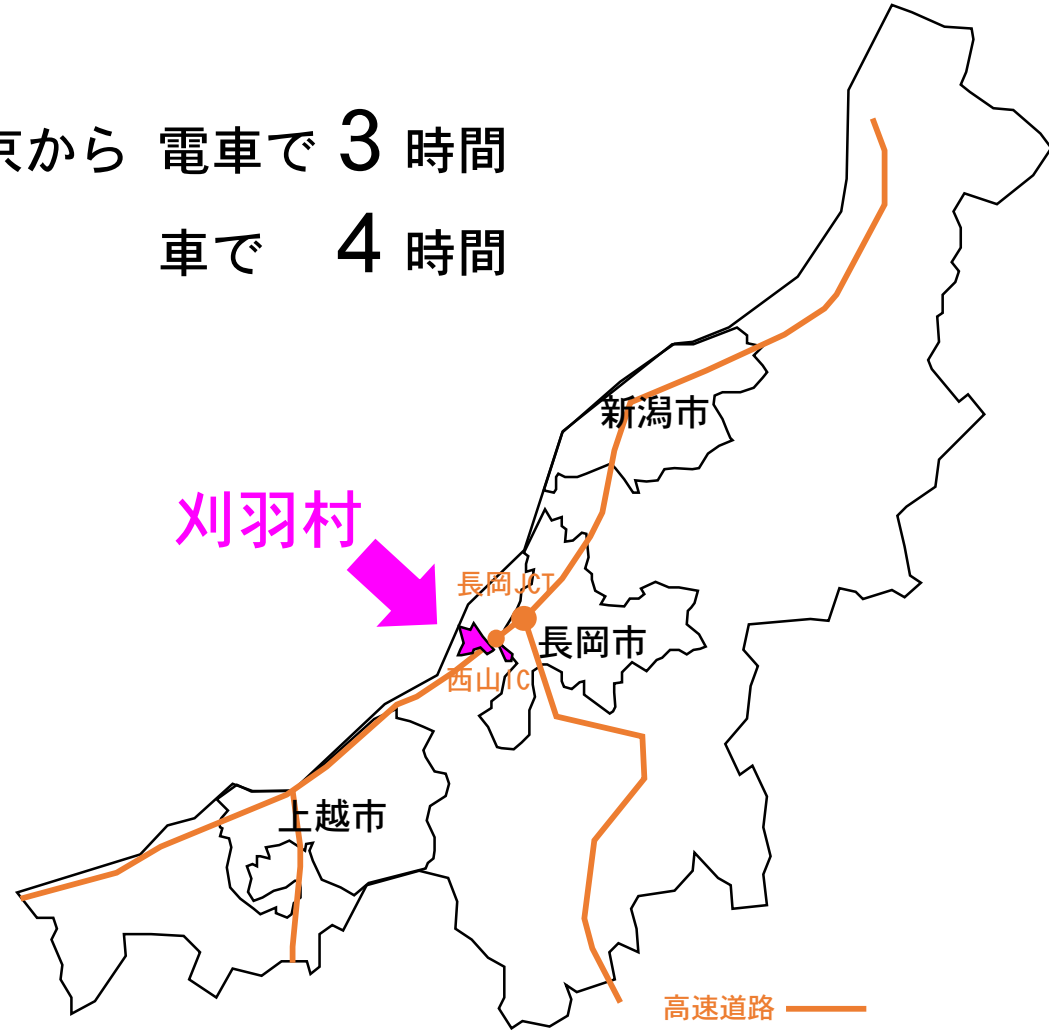
刈羽村

Kariwa Village

～笑顔の村 かりわ～

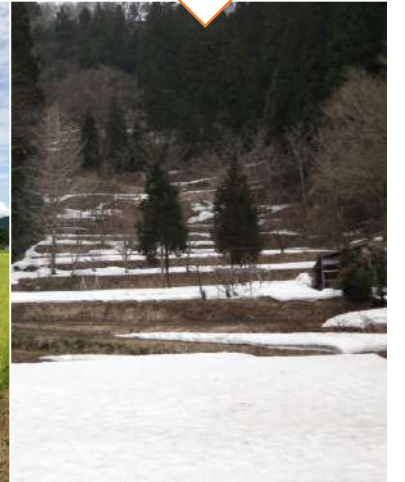
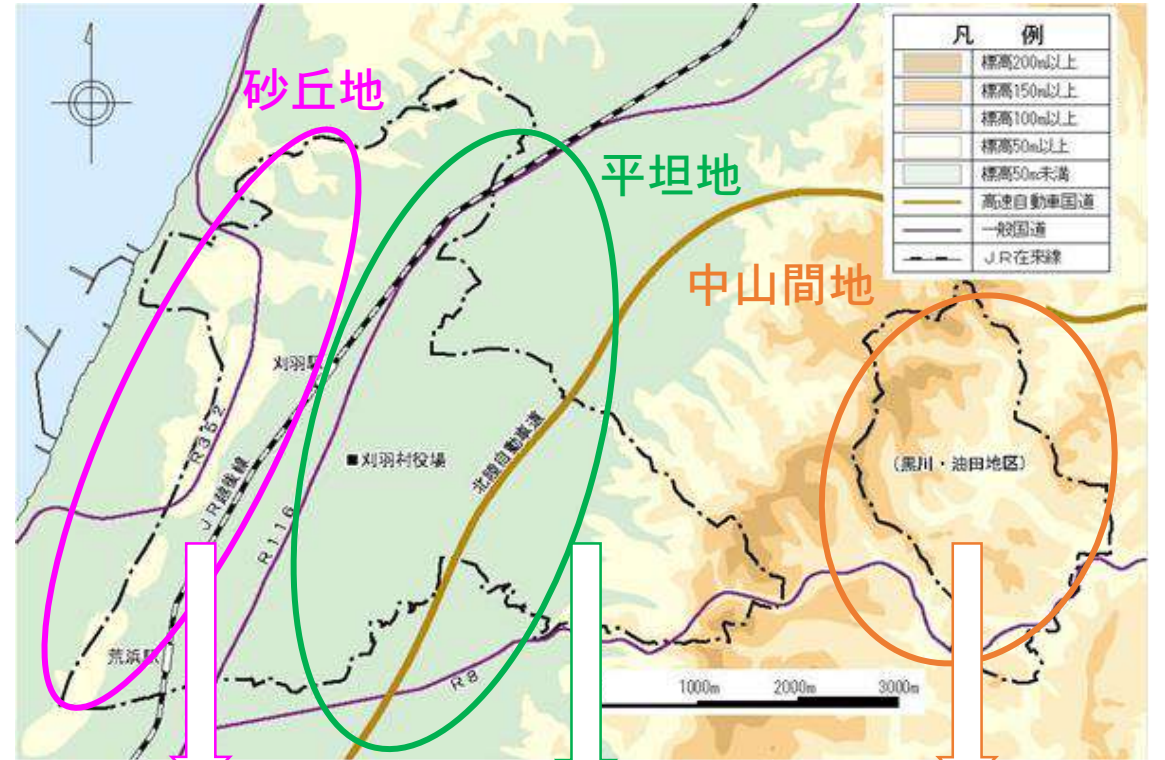
刈羽村の紹介

東京から 電車で 3 時間
車で 4 時間



人口 4,303人 (令和5年7月31日現在)

面積 26.27km²





満開に咲き乱れる砂丘桃の花



砂丘桃を収穫する子どもたち



黄金色に染まった稲穂



山間にたたずむ古民家

※現在は劣化が進み、再利用は難しい状況です。

■特産品「砂丘桃」

■砂丘地では様々な農産物が生産されてきた
(さつまいも、葉たばこ、じゃがいも、大根、すいか、チューリップなど)

■一大油田が築かれ、大正期に黄金時代を迎える

■昭和44年、刈羽村議会が原発誘致を決議



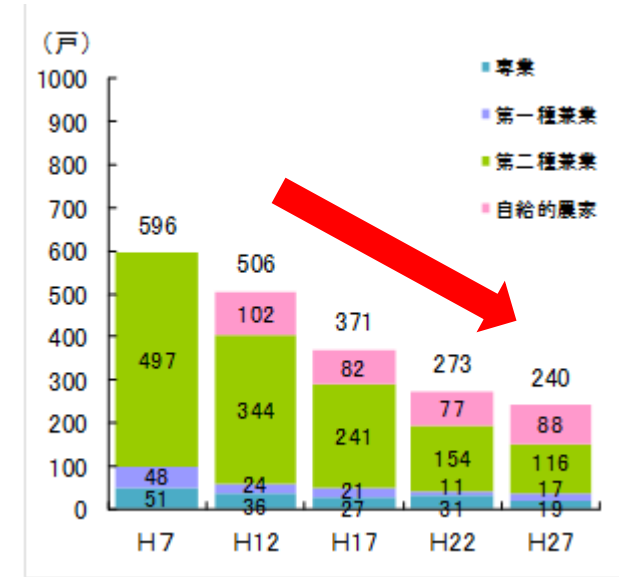
刈羽村は農業とエネルギーと共に歩んできた

■衰退する特産品「砂丘桃」

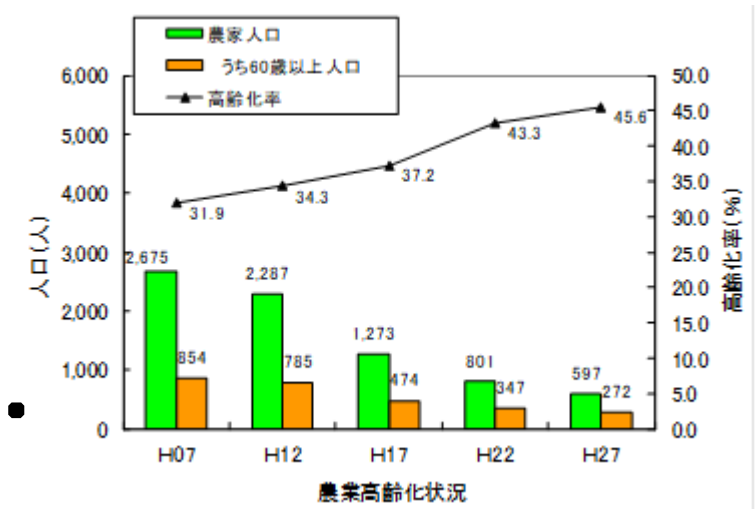
■山林原野化した砂丘地

■地域の魅力低下＝若者に“選ばれない”村

魅力低下 ⇒ 若者減少 ⇒ 更なる魅力低下…
負のスパイラルに陥っている



農家数の推移

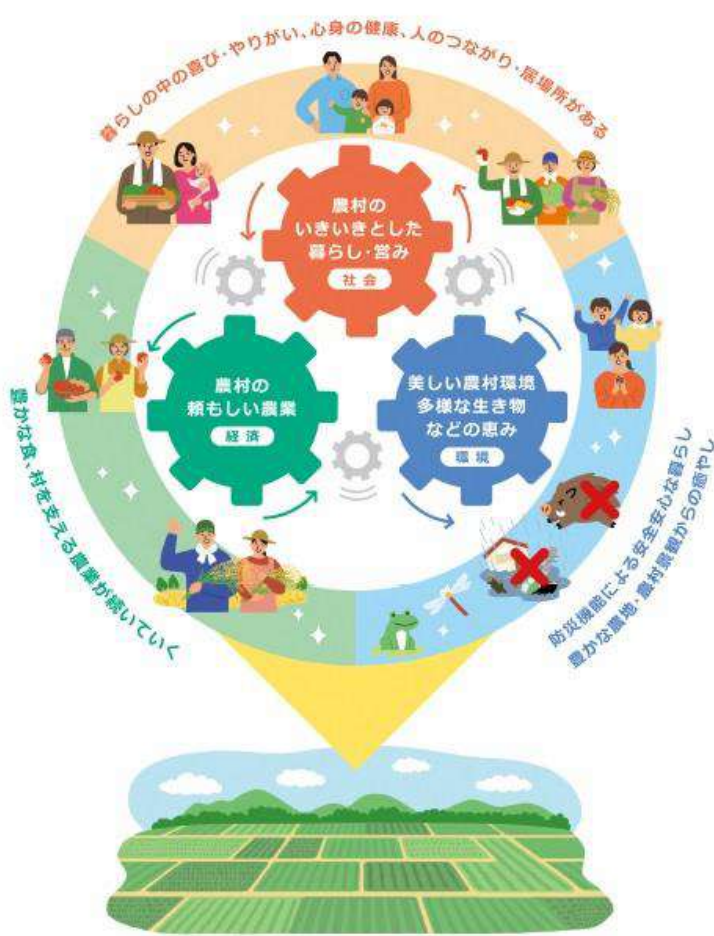


農業高齢化状況

「刈羽村農村ビジョン (R4~R13)」

△▼農村未来図 (ビジョン) ▼△

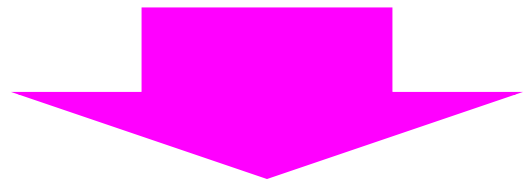
笑顔の好循環



全ての源となる農地
(みんなの共有財産)

★理想 (ビジョン)

社会 (人々の生活)、環境 (農村環境)、経済 (農業) の3つの調和を大事にし、笑顔の好循環が生まれている。



歯車を回すために必要なもの

- 農のプロジェクト
農村の良さを活かし、地域の魅力を創造する活動
- プラットフォーム (R6立ち上げ予定)
プロジェクトを起こす人々が集まる賑わいの場



農村づくり研究会

“お試し”プラットフォーム

テーマ「観光」
→砂丘で遊ぼう



テーマ「食・健康」
→ご当地プロテイン開発



テーマ「教育」
→大人の修学旅行

農×○○で、農村の新しい価値を発見したい

農業の生産性を向上させたい

農

× I T
× ロボット
× A I

魅力ある「仕事」の創出

農全体をブランディングしたい

農

× 観光
× スポーツ
× 健康

農の多面的な価値を発掘

農 × イベント



「桃の花見フェスティバル」

- ・ 砂丘桃の普及・振興のため桃の花をPR
- ・ ライトアップ、出店、ミニステージ等
- ・ 砂丘桃の加工品販売も
- ・ R6からは桃畑をメイン会場に(昨年までは体育館)

農 × 教育



「ぴあパークとうりんぼ砂丘桃栽培体験」

- ・ R4からスタートした小学生の体験学習
- ・ 1年生から6年生まで、各学年で砂丘桃に触れる例) 3年生→摘蕾・摘花、4年生→摘果・袋がけ
- ・ 将来の担い手確保を見据えた取り組み

**とにかく楽しむ
そして、なんか得する**

できれば儲かる仕組みを創りたい

**みなさんと一緒に考え、
挑戦する**

今はこれだけです

刈羽村の強み



ぴあパークとうりんぼ全景



園芸管理センター



新潟大学先端農業バイオ研究センター



宿泊交流センターピーチビレッジ「桃の湯」



至福の時間



サッカー場

◎**農村の可能性を信じている方**

◎**人と集まってアイデアを出し合うのが好きな方**

◎**刈羽村の砂丘地でなにかやってみたい方**

◎**とにかく楽しいことが好きな方**

ご清聴ありがとうございました